

## ゴルフ場カート路施工例（参考資料）

T Pがある程度カートの重量を分散するが、人とゴルフバッグを合わせると1トン以上あるカートが、毎日何十回も通るので、路盤の整備が不十分だと不陸やズレが発生する。動かないように固定する必要がある。

ここでは乗用カートと3輪のバッグ用カートを併用するため、カート幅全面にT Pを敷く必要があるため、600mm幅T P 2枚の間に300mm幅を敷き、計1500mm幅とした。



施工方法は、1500mm幅に芝生を切り取り、路盤の弱い

場所や水が溜まる場所は然るべき対策をしたうえで、クラッシャーを入れて転圧。その上にT Pを敷いて、鉄杭で固定している。

鉄杭は路盤の深さに応じて約200mmから400mmまでの間で3種類の長さを用意しており、T P 1枚当たり4、5本打っている。



現況で3輪カート用にコンクリートの路が3本ついている所で、乗用カートが乗り入れる場所では、外側に300幅T Pを敷いて幅を広げている。



またカーブ部では、カーブ内側から「くさび型」に切り込みを入れ、外側の一部を残してつないでおき、カーブに合わせて曲げて杭で固定している。

こうすればT Pをこま切れにせずに、しっかり固定できる。

芝生の貼り込みは、十分に水を含ませてから機械で叩き込まないと、芝生はT Pに入り込まない。

ローラー転圧では十分に入らないので、ランマーの方がかえってよい。

水を撒きながらでは水の準備が大変なので、梅雨時期に雨の日を待って作業した。

以上

# ゴルフ場カート路写真

ー施工後約3ヶ月ー

